

学校の部活動に係る活動方針

平成30年4月1日
京都府立峰山高等学校
弥栄分校
校長 長島 雅彦

部活動の意義

部活動は、学校教育活動の一環として、興味や関心を持つ同好の生徒が、教職員等の指導のもと、自主的・自発的に行うものであり、より高い水準の技術や記録に挑戦したり、発表会等に参加し、活動を実践する中で、楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらす意義を有している。

目指す部活動像（目標）

- ① 生徒一人一人が、さまざまな活動（準備・練習・試合・チームワーク作り・後輩指導・片付け等）に自ら進んで取り組む。
- ② 集団の一員・社会の一員としての自分の位置・立場をよく理解し、チームメイト・保護者・顧問・地域に対して感謝の気持ちを持ち、言葉や行動に表すことができる。
- ③ 生徒が、自身の心身の状態を把握し、心のコントロールや学校生活と家庭での生活がバランスよく行えるように、常に自己の健康と心の安定を図ることができるようになる。

■活動方針

- ・人格形成を最優先に考え指導・支援する。
- ・達成感を味わえる活動に重点を置き、練習内容・試合への取組計画・決定を行う。
- ・生徒の主体的な活動を通して、お互いにアドバイスや指導する雰囲気作りや指導計画を立てる。
- ・色々な場面、多くの機会に、「自分達の活動が、周りに支えられている」ことを説き、感謝の気持ちを育てる。
- ・家庭の経済的負担について配慮し、充実した活動や家庭の心理的、経済的な負担を軽減し、バランスのとれた活動内容を目指す。

■活動規則

- ・顧問は、「毎月の活動計画」を、校長に提出する。
(大会等の参加や試合については、「毎月の活動計画」に含めること。)
- ・顧問は、「毎月の活動実績（活動日・活動時間）」を、所定の様式で提出する。
- ・週に2日以上以上の休養日（土日を休業日とすることが望ましい。）を設ける。
 - ・短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。

完全下校については午後7時とする。

- ・顧問は、大会等の参加数や試合数が過度にならないよう配慮する。

必要となる様式 毎月の活動計画及び試合等の情報の様式（各部活動様式による）